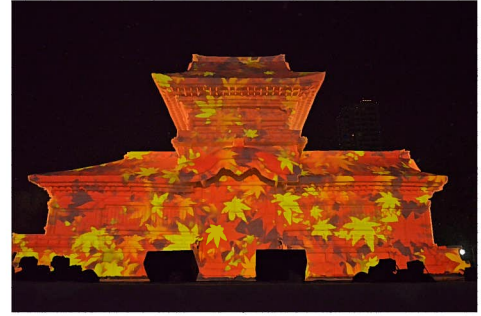


第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第66回雪まつりでは、国内、海外の有名建築物や子供たちに人気のキャラクターなどの大雪氷像が「大通会場」に作られ、幅広い年齢層から関心を集めました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、体験型の雪まつりとして好評を博しました。観客数は、連休が取りづらい曜日並びであったこと、小雪氷像を一部損壊または自主解体するなどといった過去に例のない雨と暖気の影響等により、前回より2.2%減の235万人の人出となりました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>

【第66回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成27年2月5日(木)～11日(水・祝)〔7日間〕	
会 場	大通会場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～6条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式(大通西7丁目 2月5日) ・ つどーむ会場開会式(つどーむ 2月5日) ・ 国際雪像コンクール 12チーム(大通西11丁目) ・ 市民雪像(大通小雪像80基、中雪像3基、つどーむ小雪像2基) ・ スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月5日) ・ ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施) 	
雪 氷 像 数	207基 (大雪像5基、中雪像9基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5tトラックで約5,648台(1月7日開始)	

【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)	第62回 (平成23年)	第63回 (平成24年)	第64回 (平成25年)	第65回 (平成26年)	第66回 (平成27年)
雪像数(基)	338	307	290	286	248	254	228	216	198	207
観客数 (千人)	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433	2,416	2,054	2,367	2,402	2,350

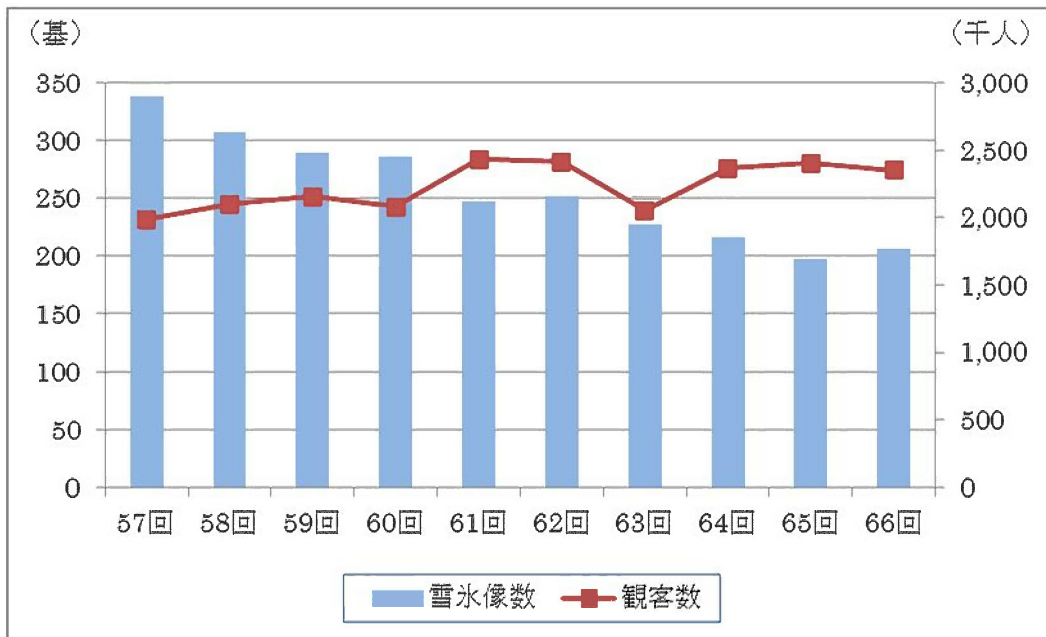


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせ「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成27年6月の第24回のYOSAKOIソーラン祭りでは、前回に続き大通公園西8丁目メイン会場にステージサイド席を設けて臨場感あふれる会場としたほか、海外からは13年連続参加の台湾からのチームに加え、韓国からのチームも初参加しました。

祭り最終日のファイナルステージでは、各賞受賞チームの演舞に加えファイナル審査が行われ、今年もっとも感動と元気を与えてくれたチームにYOSAKOIソーラン大賞が授与されました。

期間中、5日間にわたって晴天に恵まれ、会場を訪れた人の数は198万7,000人にのびりました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>

【第23・24回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要】

	第23回（平成26年度）	第24回（平成27年度）
期 間	平成26年6月4日（水）～8日（日）	平成27年6月10日（水）～14日（日）
会 場	大通公園を始めとする市内21会場	大通公園を始めとする市内20会場
参 加 者	延べ27,000人 270チーム	延べ27,000人 270チーム
うち市内	58チーム	65チーム
道内	75チーム	71チーム
その他	137チーム	134チーム
観 客 数	187万5,000人	198万7,000人

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去10年）】

	第14回 (平成17年)	第15回 (平成18年)	第16回 (平成19年)	第17回 (平成20年)	第18回 (平成21年)	第19回 (平成22年)	第20回 (平成23年)	第21回 (平成24年)	第22回 (平成25年)	第23回 (平成26年)
参加チーム数	334	350	341	330	316	304	284	271	271	270
参加者(百人)	430	450	430	430	330	300	280	270	270	270
観客数(千人)	2,140	1,860	2,160	2,020	1,790	2,180	2,000	1,980	2,060	1,875

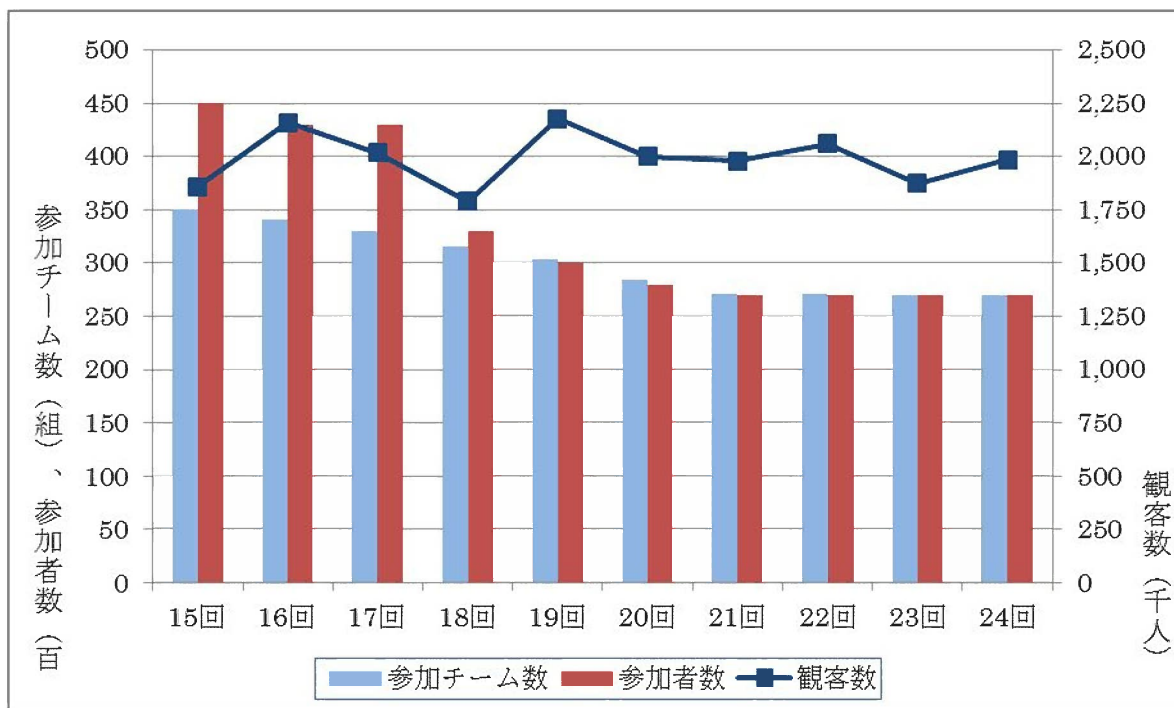


図 4-2 YOSAKOI ソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、新たな夏の観光名物の創出を目指して、それまで市内の各団体・地域が独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。



まつりの前半には、「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」が開催され、色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

【第 62 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 27 年 7 月 22 日（水）～8 月 20 日（木）〔30 日間〕

行事等

行 事 ・ 会 場		日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4～8、10・11 丁目)	7 月 22 日～8 月 16 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
狸 小 路	第 62 回狸まつり	7 月 22 日～8 月 20 日
すすきの	第 51 回すすきの祭り	8 月 6 日～8 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第53回 (平成18年)	第54回 (平成19年)	第55回 (平成20年)	第56回 (平成21年)	第57回 (平成22年)	第58回 (平成23年)	第59回 (平成24年)	第60回 (平成25年)	第61回 (平成26年)	第62回 (平成27年)
ビール消費量(kℓ)	575	459	539	520	416	474	457	468	454	424
盆踊り参加者(千人)	87	101	108	91	115	103	118	108	124	107
平均最高気温(℃)	27.9	26.4	26.4	25.8	27.8	27.4	27.2	27.3	27.6	28.3

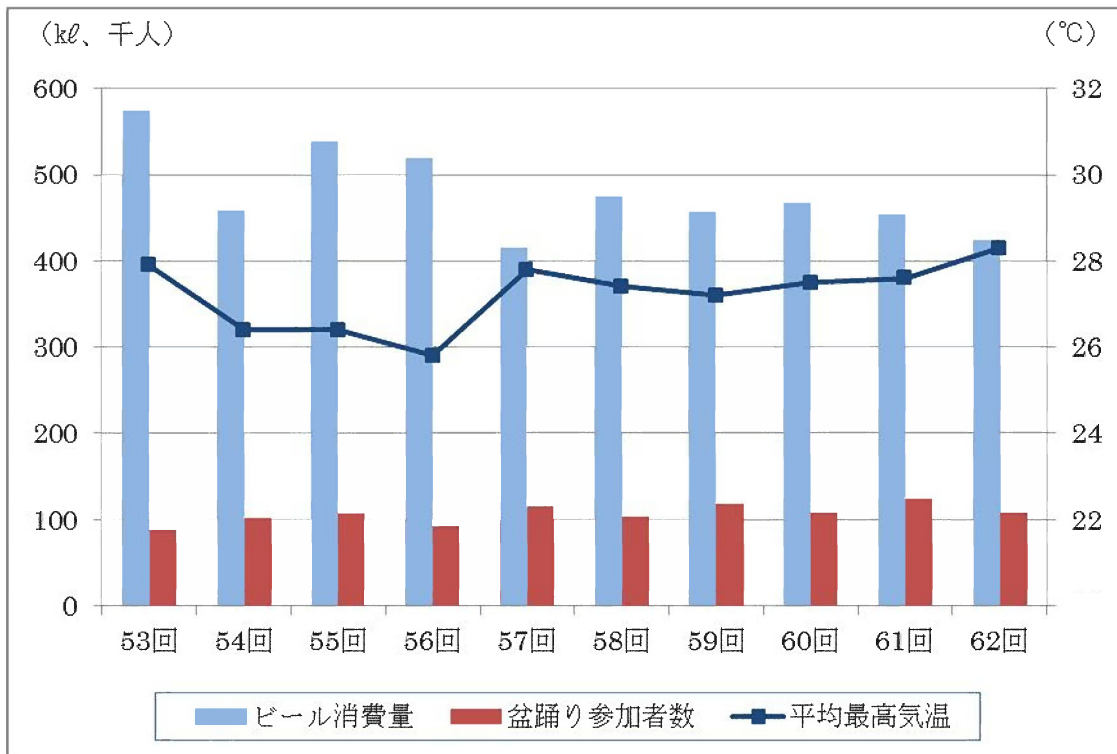
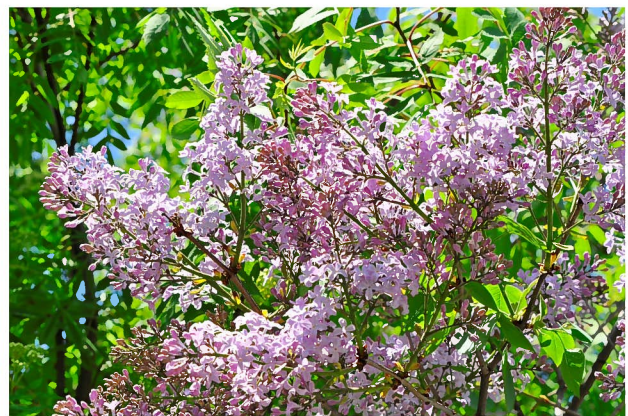


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成 27 年で 57 回目を迎えました。会場となる大通公園では、開催期間をこれまでで最長となる 12 日間に延長し、小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道の各流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむ「ワインガーデン」も人気を博しました。

また、第 2 会場としての川下公園（白石区）でも、ライラックの森を公園職員が案内する「ライラックツアー」やライラックの森を回る「ライラックスタンプラリー」などの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://lilac.sapporo-fes.com/>

【第 56・57 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 56 回（平成 26 年度）		第 57 回（平成 27 年度）	
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
期 間	平成 26 年 5 月 16 日（金） ～25 日（日）	5 月 31 日（土） 6 月 1 日（日）	平成 27 年 5 月 20 日（水） ～31 日（日）	5 月 30 日（土） 31 日（日）
行事等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、麦わら細工体験コーナー、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観客数	498,900 人		592,600 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまで独自に行われていた小規模な同好会の活動が一本化され、昭和 38 年に全市的なイベントとして「さっぽろ菊花展」が誕生しました。第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



また、昭和 49 年からは、札幌地下街を会場とし、全国でも例のない屋内型の菊まつりとして、札幌市の秋の恒例行事として市内外に定着しました。さらに、平成 23 年より、様々なイベントの実施が可能な札幌駅前通地下広場に主要会場を移し、菊花総合花壇の創設や、伝統的な芸術文化行事による和を基調とした空間演出などを併せて実施しています。

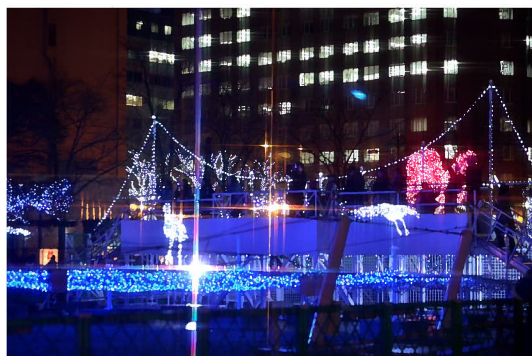
(URL) <http://kiku.sapporo-fes.com/>

【2014 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 26 年 10 月 31 日（金）～11 月 3 日（月・祝）〔4 日間〕
会 場	札幌駅前通地下広場（北 1 条～北 4 条の交差点広場、憩いの空間） さっぽろ地下街オーロラタウン（オーロラプラザ）
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
出 展 数	1,154 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園に加え、駅前通り、南一条通りを会場とするに至り、42 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

【第 34 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～3 丁目]	平成 26 年 11 月 21 日(金)～ 平成 26 年 12 月 25 日(木) 35 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 26 年 11 月 21 日(金)～ 平成 27 年 2 月 11 日(水・祝) 83 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 26 年 11 月 21 日(金)～ 平成 27 年 2 月 14 日(土) 86 日間
点灯時間	16 時 30 分～22 時 00 分 (12 月 20 日～25 日は 24 時まで)	
総電球数	450,000 個	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 平成 26 年 11 月 28 日(金)～12 月 24 日(水)	

(7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとして、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年からスタートしました。

平成 26 年のさっぽろオータムフェスト 2014 では会場を拡大し、道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみといった各地の特選品が並び、200 万人を超える多くの来場者に秋の味覚をお楽しみいただきました。

また、観光客や来場者に札幌市内を周遊していただくことを目的に、創成川東、円山、すすきの、藻岩山、札幌駅及び定山溪の各地区と連携をしています。

この各エリアへの交通手段としてベロタクシーやポロクルとも連携を行いました。

(URL) <http://www.sapporo-autumfest.jp/>



【さっぽろオータムフェスト 2014 の開催概要】

期 間	平成 26 年 9 月 12 日（金）～28 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 1 丁目、5 丁目～8 丁目、10 丁目、11 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 12 日） ・ さっぽろオクトーバーフェスト（1 丁目） ・ 北海道の新・ご当地グルメ&ラーメン祭り 2014（5 丁目） ・ あおぞら×ほしぞら 大通バザールアミーゴ！（6 丁目） ・ 大通公園 7 丁目 BAR（7 丁目） ・ 札幌大通ふるさと市場（8 丁目） ・ 驚きと発見の祭典“Oh!ドーリファーム（10 丁目） ・ さっぽろハピネステリア（11 丁目）

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)	第3回 (平成22年)	第4回 (平成23年)	第5回 (平成24年)	第6回 (平成25年)	第7回 (平成26年)
来場者数 (千人)	724	1,304	1,115	1,306	1,558	1,647	2,009

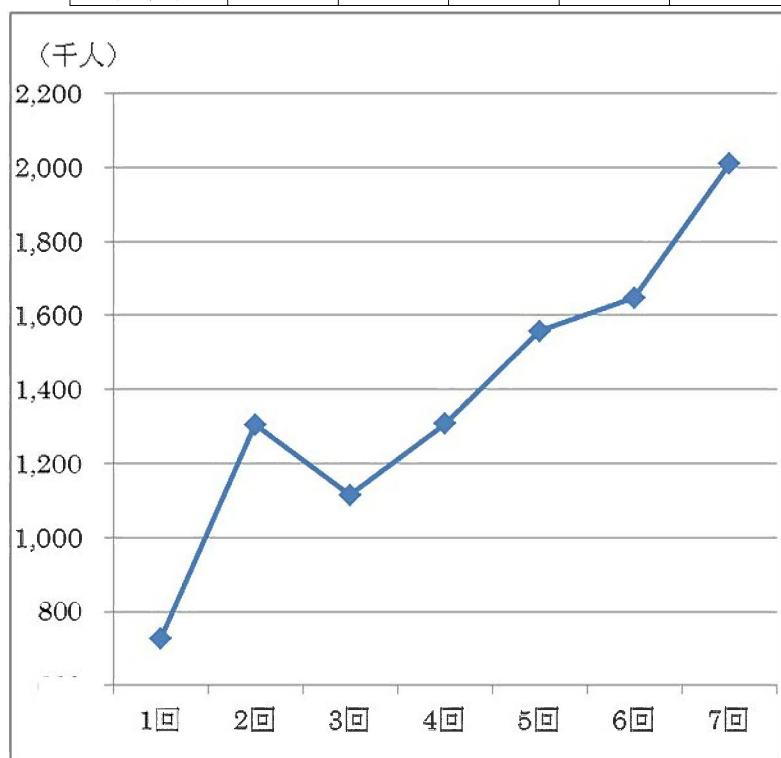


図 4-4 さっぽろオータムフェスト来場者数推移

2 札幌での MICE 開催状況

(1) 国際会議開催件数（暦年）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
JNTO 基準	86件	73件	61件	89件	101件
ICCA 基準	16件	7件	16件	13件	19件

（注）JNTO（日本政府観光局）基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③日本を含む3か国以上が参加、④開催期間が1日以上での会議。

ICCA（国際会議協会）基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③定期的に開催され（1回だけ開催されたものは除外される）、④3か国以上での会議持ち回りがある会議。

参考

都市別国際会議開催件数の推移

【JNTO 基準（2014年）】

順位	都市名	件数
1位	東京（23区）	543
2位	福岡	336
3位	京都	202
4位	横浜	200
5位	名古屋	163
6位	大阪	130
7位	千里地区	104
8位	札幌	101
9位	神戸	82
10位	仙台	80

【ICCA 基準（2014年）】

順位	都市名	件数	国際順位
1位	東京	90	22位
2位	京都	47	54位
3位	札幌	19	125位
4位	横浜	18	134位
5位	奈良	16	152位
5位	沖縄	16	152位
7位	福岡	15	164位
7位	神戸	15	164位
9位	名古屋	11	208位
10位	大阪	10	222位

（注）「千里地区」は、大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を含む。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成26年度）

	大ホール	特別会議場	中ホール	小ホール	会議室(15室)
利用日(日)	290	159	234	235	259
稼働率(%)	82.9	45.4	66.9	67.1	74.0

（注）稼働率は、営業日数350日で計算。

(3) 札幌でのインセンティブツアー誘致・支援件数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
件数	16	8	20	37	54
参加者総数	3,945	1,414	4,106	5,057	5,517

（注）札幌国際プラザ・コンベンションビューローが誘致又は支援した件数。